資料７－５

イエローリボン通信

R6. 6 月発行 NO. 1
障害福祉課 管理･政策推進 G

今回のトピックス

◇音声コード付き封筒を導入した実施例を紹介します！　◇音声コード作成の流れについて

１．音声コード付き封筒を導入した実施例を紹介します！

音声コードとは？

音声コード（Uni-Voice）とは、QR コードと同じ印刷物上の切手大の二次元コードのことです！
スマートフォンを音声コードにかざして専用アプリ（Uni-Voice／Uni-Voice Blind）で読み取ることで、視覚障害の方にも簡単に印刷物の内容を音声で伝えることができます。

まずはアプリをダウンロードして音声コードを読み取ってみてください！

※QR コードとは異なります。

国民健康保険課での導入例

国民健康保険課では令和6年度より封筒やチラシに音声コードをつける取組みを開始しました。
そこで、国民健康保険課の職員の方に、音声コードをつけることになった経緯や音声コードを作成してみた感想などをインタビューしました。

音声コードを封筒につけることになった経緯を教えてください！

障害福祉課職員

国民健康保険課職員

国保課は発送物が多いため、視覚に障害のある方への配慮が特に必要な職場だと感じていました。４月から障害者差別解消法が改正されていることも受け、国保課として何かできることはないかと考えていました。
そんな中で音声コードのことを知り、視覚に障害のある方にも、封筒に何の通知が入っているのかを伝えることができるということで、つけることにしました。

音声コードを作成するにあたって、何か苦労したことはありましたか？

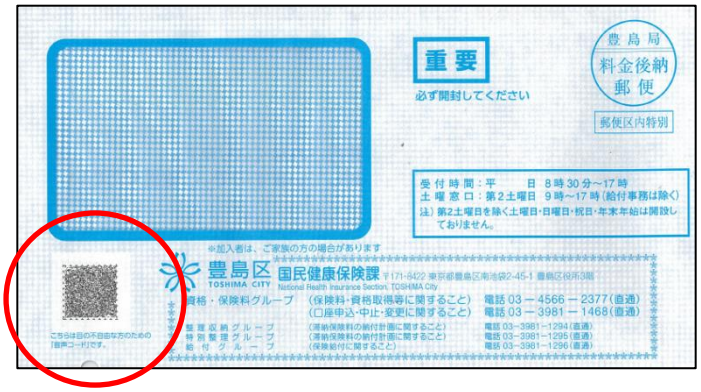
障害福祉課職員



国民健康保険課職員

音声コードの作成は、読み上げる原稿を Word に入力して障害福祉課に送付するだけなのでとても簡単でした。
苦労をした点を強いて挙げるなら、
① 音声コードを印字する位置には決まりがあるので、全体のレイアウト調整が必要だったこと
② 実際に読み上げてみて想定と違う読み方（「世帯主（せたいぬし）」を「せたいしゅ」）をした場合、原稿をひらがなに修正して、再度音声コードを作成する必要があったこと
でしょうか。とにかく簡単にできることに驚きました。

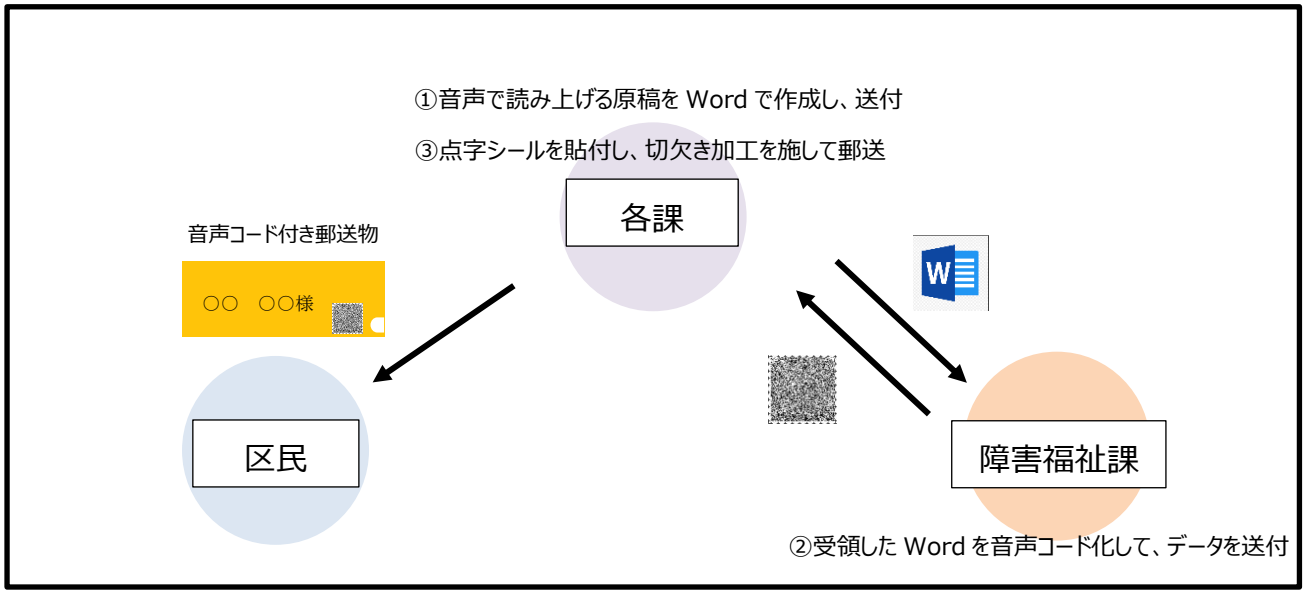
国民健康保険課で実際に作成した音声コード付きの封筒とチラシ





2．音声コード作成の流れについて

音声コード付き封筒を作成するまでの流れは以下のとおりです。詳細は、音声コード付き封筒作成マニュアルをご参照ください。



※音声コードを付ける際には音声コードの位置が分かるように、音声コードの横に半円の切欠き加工が必要になります。封筒作成を委託している場合は仕様書にその旨を記載していただく必要があります。所管課で対応する場合、切り欠き（半円の穴あけ）は、穴あけパンチで加工できます。

インタビューでお答えいただいたとおり、音声コードは簡単につけることができます。
合理的配慮の一環として、音声コードの導入をご検討いただけますと幸いです。

次回の発行は 9 月頃の予定です。記事に対するご不明点、あるいは業務の中でのお困りごとなどありましたら障害福祉課までご相談ください。